

国土交通省 清水港湾事務所 広報紙

みなとしみず

事務所開設100周年記念特別号

SINCE 1990.6 No.145

～清水港をはじめ静岡県内の「みなと」の旬な情報をお届けします!～

発行



国土交通省 中部地方整備局
清水港湾事務所



静岡市清水区日の出町7番2号

TEL 054-352-4146 (代表)

事務所HP <http://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp>

清水港湾事務所は、1921年(大正10年)に、内務省横浜土木出張所 清水港修築事務所として開設され、本年、100周年を迎えました。

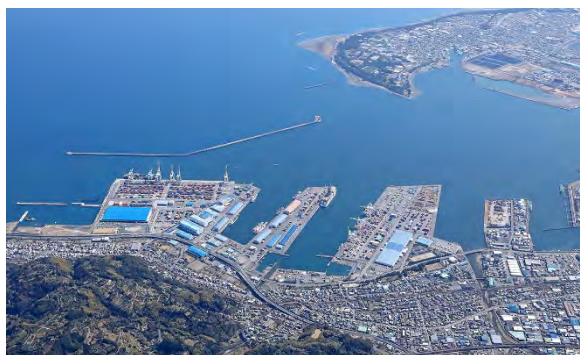
これまでお支えいただいた地域の皆様や港湾関係者の皆様に心より感謝を申し上げます。

この節目にあたり、広報紙「みなとしみず」の特別号として、事務所100年のあゆみと、現在手がけているプロジェクトの一例をご紹介します。

ぜひご覧いただければ幸いです。

清水港湾事務所では、次の100年に向け、引き続き皆様と手を携えて、静岡のみなとづくりを着実に進めて参ります。

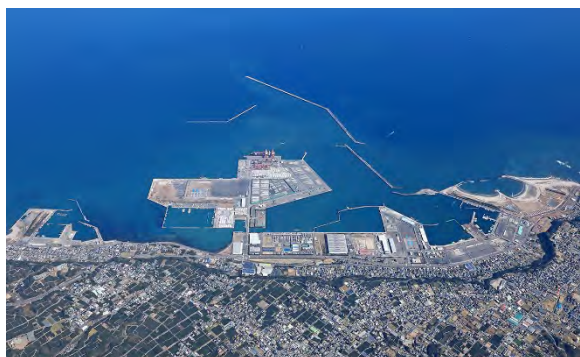
清水港湾事務所 職員一同



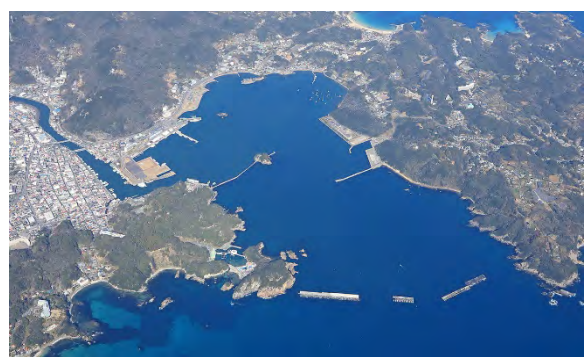
清水港



田子の浦港



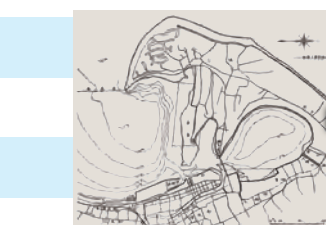
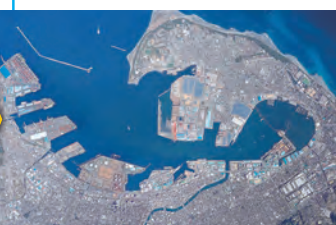
御前崎港



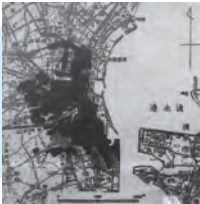
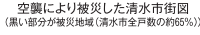
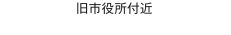
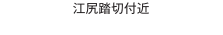
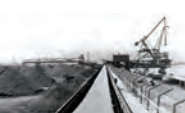
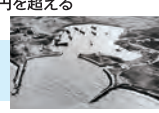
下田港

現在、「清水港湾事務所 100年のあゆみ」パネル展示を行っています。
展示場所や期間などの詳細は、最終ページをご覧ください。
お近くへお越しの際は、ぜひ足を運んでいただければ幸いです。

清水港湾事務所 100年のあゆみ ①

年	清水港湾事務所の動き(主要プロジェクト)	静岡県内各港の動き	主な出来事
1899年 (明治32年)		清水港が開港場に指定(8月)	
1909年 (明治42年)		静岡県による清水港第一期修築工事着手(5月) 清水港の茶輸出額が横浜港を抜き全国1位に	
1911年 (明治44年)		清水港の貿易額が初めて1千万円を超える	
1914年 (大正3年)	清水港 鯨(はしけ)への輸出茶の積み込み (明治後期)	清水港第一期修築工事完成(3月)	第一次世界大戦勃発(7月)
1918年 (大正7年)	清水港 貿易1千万円祝賀会 (1911年11月26日)		第一次世界大戦終結(11月)
1921年 (大正10年)	●清水港 第二期修築工事 起工式(5月22日) ■内務省 横浜土木出張所 清水港修築事務所 開設(10月1日) (現在の清水港日の出地区等の整備に着手)	 清水港 第二期修築工事 起工式 (基石沈下)	
1922年 (大正11年)	 修繕工事中の清水港(1924年)	 沈められた基石 (基石沈下)	ソビエト連邦が成立(12月)
1923年 (大正12年)	 現在の清水港(日の出地区)(2021年5月)	関東大震災(9月) (清水港が京浜地区からの避難者の受入拠点・ 救援物資輸送拠点として機能)	関東大震災(9月)
1924年 (大正13年)			
1925年 (大正14年)	岸壁ケーソンの製作工事 (コンクリートの打設)	関東大震災避難者の上陸	ラジオ放送開始(3月)
1926年 (大正15年) (昭和元年)	ケーソンの進水		
1927年 (昭和2年)	●清水港 丙岸壁(水深7.3m) 完成(3月)	清水港修築事務所所属ポンプ浚渫船 「草薙号」による浚渫作業	
1928年 (昭和3年)			東京地下鉄道開業 (上野-浅草間)(12月)
1929年 (昭和4年)	●清水港 追加岸壁(水深10.6m)建設工事 着工(5月)	丙岸壁及び1-2号上屋(1929年頃)	
1930年 (昭和5年)	■天皇陛下が静岡県の御巡幸において清水港築港工事を御視察(5月) ●清水港 乙岸壁(水深8.5m) 完成(7月)	清水港丙岸壁に第1船「泰仁丸」が入港(初の接岸荷役)(5月)	世界恐慌
1931年 (昭和6年)		北伊豆地震(11月)	
1932年 (昭和7年)	乙岸壁及び丙岸壁に着岸する貨物船	丙岸壁に着岸した「泰仁丸」	満州事変(9月)
1933年 (昭和8年)	●清水港 甲岸壁(水深10.6m) 完成(7月)	北伊豆地震により被災した乙岸壁	
1934年 (昭和9年)	●清水港 追加岸壁(水深10.6m) 完成(3月)	下田港修築工事着手	昭和三陸地震津波(3月)
1935年 (昭和10年)		静岡地震(7月)	室戸台風(9月)
1936年 (昭和11年)	●清水港 渡棧橋 完成(1月) (日の出埠頭が総延長約800mの連続バースとなる)	清水港の荷役風景 (1930年頃)	
1937年 (昭和12年)	完成した追加岸壁	静岡地震により被災した 丙岸壁及び1号上屋	日中戦争勃発(7月)
1938年 (昭和13年)	●清水港 第二期修築工事 完了(3月) ■清水港第二期修築工事完了に伴い事務所閉所(3月)		
1939年 (昭和14年)			第二次世界大戦勃発(9月)
1940年 (昭和15年)	第二期修築工事着手前の清水港平面図(1920年)		
1941年 (昭和16年)	第二期修築工事完了後の清水港平面図(1938年)		
1942年 (昭和17年)		現在の清水港(2021年3月)	太平洋戦争開戦(12月)

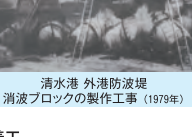
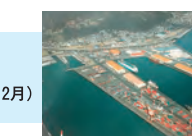
清水港湾事務所 100年のあゆみ ②

年	清水港湾事務所の動き(主要プロジェクト)	静岡県内各港の動き	主な出来事
1943年 (昭和18年)			
1944年 (昭和19年)			
1945年 (昭和20年)	   空襲後の清水市街地	空襲や艦砲射撃により 清水港が大きな被害を受ける(7月)	三河地震(1月) 太平洋戦争終結(8月15日) 第二次世界大戦終結(9月2日) 国際連合発足(10月)
1946年 (昭和21年)	   空襲により被災した清水市街図 (黒い部分が被災地域(清水市全戸数の約85%)) 旧市役所付近 江尻踏切付近		日本国憲法公布(11月) 南海地震(12月)
1947年 (昭和22年)	■運輸省 第二港湾建設部 清水港工事事務所 設置(5月) ●第二次世界大戦により被害を受けた清水港の復旧・復興工事 着手	第1回清水みなと祭り開催(8月)	カスリーン台風(9月)
1948年 (昭和23年)	   事務所庁舎(二代目) (1947年12月完成) 日の出岸壁と5号上屋(1950年) 日の出岸壁(1950年)	御前崎港避難港工事着手(7月)	中華人民共和国成立(10月)
1949年 (昭和24年)		 工事着手当時の御前崎港(1948年)	朝鮮戦争勃発(6月)
1950年 (昭和25年)	 清水港に入港する大阪商船「あめりか丸」(1951年)	下田港が避難港に指定(8月)	サンフランシスコ平和条約、 日米安全保障条約締結(9月)
1951年 (昭和26年)			
1952年 (昭和27年)	●清水港 石炭岸壁(水深9m)建設工事 着工	清水港が特定重要港湾に指定(2月)	
1953年 (昭和28年)	  工事中の石炭岸壁 (1955年) 石炭岸壁 鋼矢板の打設工事 (1956年)	 清水港 特定重要港湾指定祝賀式 (1952年2月11日)	テレビ放送開始(2月) 奄美群島返還(12月)
1954年 (昭和29年)			洞爺丸台風(9月)
1955年 (昭和30年)		 天皇・皇后両陛下が清水漁港を御視察	イタイタイ病発生
1956年 (昭和31年)		天皇・皇后両陛下が清水漁港を御視察(10月)	日本が国際連合に加盟(12月) 水俣病発生
1957年 (昭和32年)	●清水港 石炭岸壁(水深9m) 完成(3月)	田子の浦港第一期修築工事着手(4月)	関門トンネル開通(3月) 東京タワー完成(12月)
1958年 (昭和33年)	●清水港 村松岸壁(水深9m)建設工事 着工	狩野川台風(9月)	伊勢湾台風(9月)
1959年 (昭和34年)	  完成後の石炭岸壁(1962年) 現在(富士見岸壁)(2021年3月)	 工事着手当時の田子の浦(1958年)	
1960年 (昭和35年)	  村松岸壁 鋼管杭の打設工事(1962年) 石炭岸壁と貯炭場(1960年)	御前崎港避難港工事完成(3月) チリ地震津波(5月)	カラーテレビ放送開始(9月) 四日市ぜんそく発生
1961年 (昭和36年)		田子の浦港開港(8月)	ソ連のボストーク号打ち上げ、 人類初の有人宇宙飛行(4月)
1962年 (昭和37年)	●清水港 興津第1埠頭建設工事 着工(8月) ●清水港 村松岸壁(水深9m) 完成	 田子の浦港 開港祝賀式	避難港工事完成間近の御前崎港 (1958年12月)
1963年 (昭和38年)	 興津第1埠頭 起工式(1962年8月3日)	清水港の取扱貨物量が初めて1千万トンを超える	
1964年 (昭和39年)	●清水港 興津第2埠頭建設工事 着工	大井川港開港(3月) 田子の浦港が重要港湾に指定(4月) 清水港の貿易額が初めて1千億円を超える	東海道新幹線開業(10月) 東京オリンピック開催(10月) 第二水俣病発生(新潟県)
1965年 (昭和40年)	 工事中の興津第1・第2埠頭(1965年)	 開港当時の大井川港	ベトナム戦争が激化
1966年 (昭和41年)	●清水港 興津2~3号岸壁(水深10m) 完成(3月) ※興津第1埠頭 ●清水港 外港防波堤建設工事 着工(4月)	田子の浦港が関税法に基づく開港に指定(4月)	



国土交通省

清水港湾事務所 100年のあゆみ ③

年	清水港湾事務所の動き(主要プロジェクト)	静岡県内各港の動き	主な出来事
1967年 (昭和42年)	● 清水港 三保ケーソン製作場建設工事 着工(9月)		東南アジア諸国連合(ASEAN)発足(8月)
1968年 (昭和43年)	● 清水港 三保ケーソン製作場 完成(3月) ● 清水港 興津6~7号岸壁(水深10m) 完成(3月) ※興津第2埠頭	 事務所舎(三代目) (1965年12月完成)	小笠原諸島返還(6月)
1969年 (昭和44年)	  ● 清水港 興津12号岸壁(水深12m)、13~14号岸壁(水深10m) 完成(3月) ※興津第2埠頭	東名高速道路全線開通(5月)	アポロ11号が人類初の月面着陸(7月)
1970年 (昭和45年)	● 清水港 興津12号岸壁(水深12m)、13~14号岸壁(水深10m) 完成(3月) ※興津第2埠頭	清水港で初のフルコンテナ船「パシフィックバンカー」が入港(富士見埠頭)(1月) 清水港で初のコンテナ荷役用ガントリークレーンを設置(興津第2埠頭)(6月)	よど号ハイジャック事件(3月) 大阪万博開催(3月~9月)
1971年 (昭和46年)	● 清水港 袖師第1埠頭建設工事 着工(11月)	御前崎港が関税法に基づく開港に指定(4月) 田子の浦港公害防止対策事業着手(4月)	
1972年 (昭和47年)	● 清水港 興津8号岸壁(水深10m) 完成(3月) ※興津第2埠頭 ● 清水港 三保防波堤建設工事 着工(11月)	 興津12号岸壁に、清水港で初めてコンテナ荷役用ガントリークレーンを設置	札幌冬季オリンピック開催(2月) 沖縄返還(5月) 日中共同声明、中国と国交回復(9月)
1973年 (昭和48年)	● 清水港 袖師6号岸壁(水深12m) 完成(3月)	 工事中の袖師第1埠頭 (1973年)	第一次オイルショック
1974年 (昭和49年)	● 清水港 興津9号岸壁(水深10m)、10号岸壁(水深7.5m)、11号岸壁(水深12m) 完成(3月) ※興津第2埠頭	伊豆半島沖地震(5月) 七夕豪雨(7月)	
1975年 (昭和50年)		御前崎港が重要港湾に指定(4月)	ベトナム戦争終結
1976年 (昭和51年)	● 清水港 三保防波堤(延長330m) 完成(1月) ● 清水港 袖師7号岸壁(水深12m) 完成(3月)		
1977年 (昭和52年)			
1978年 (昭和53年)	● 清水港 袖師8号岸壁(水深12m) 完成(3月) ■ 御前崎分室 設置(4月) ● 御前崎港 防波堤(東)建設工事 着工(6月) ● 清水港 外港防波堤改良工事 着工(6月) (港外側への消波ブロック設置)	 完成後の袖師8号岸壁 (1978年7月)	成田空港開港(5月) 第二次オイルショック
1979年 (昭和54年)	● 清水港 袖師9~10号岸壁(水深9m)、11号岸壁(水深12m) 完成(3月)	 清水港 外港防波堤 消波ブロックの製作工事 (1979年)	
1980年 (昭和55年)	● 清水港 興津1号耐震岸壁(水深10m)建設工事 着工 ● 下田港 防波堤基礎調査 着手(5月)	清水港の貿易額が初めて1兆円を超える	イラン・イラク戦争勃発(9月)
1981年 (昭和56年)	■ 下田分室 設置(4月) ● 清水港 外港防波堤(延長1,300m) 完成(9月)		スペースシャトル コロンビアが宇宙空間を初飛行(4月)
1982年 (昭和57年)	● 清水港 三保防波堤改良工事 着工(1月) (港外側への消波ブロック設置) ● 清水港 日の出4~5号岸壁改良工事 着工(4月) (甲・乙岸壁の水深12mへの増深・耐震化)	 清水港 日の出岸壁改良工事 (1982年)	清水港袖師第1埠頭コンテナターミナル完成(3月)
1983年 (昭和58年)	● 清水港 興津1号耐震岸壁(水深10m) 完成(12月)	 清水港 興津地区全景 (1983年)	袖師コンテナターミナル竣工記念式典(1982年5月26日)
1984年 (昭和59年)	● 清水港 富士見4~5号岸壁改良工事 着工(7月) (水深9m→水深12mへの増深)		東京ディズニーランド開園(4月) ファミリーコンピュータ発売(7月)
1985年 (昭和60年)	● 下田港 防波堤(西)建設工事 着工(9月)	 清水港の欧州定期航路第1船「ニホン」が入港 (1983年1月)	マイクロソフト「Windows1.0」発売(6月) 日本航空123便墜落事故(8月)
1986年 (昭和61年)		 下田港防波堤着工式典 (1985年9月7日)	ソ連チェルノブイリ原発事故(4月)

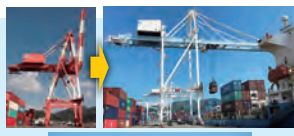
写真提供：静岡県、清水港利用促進協会

2021年(令和3年)6月作成



国土交通省

清水港湾事務所 100年のあゆみ ④

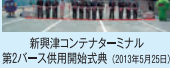
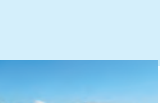
年	清水港湾事務所の動き(主要プロジェクト)	静岡県内各港の動き	主な出来事
1987年 (昭和62年)			国鉄分割・民営化、JR発足(4月)
1988年 (昭和63年)	●御前崎港 防波堤(西)建設工事 着工(7月) 	清水港日の出地区再開発事業着手 	青函トンネル開通(3月) 瀬戸大橋開通(4月) イラン・イラク戦争停戦(8月)
1989年 (昭和64年) (平成元年)	●清水港 日の出4~5号岸壁改良工事 完成(3月) (水深12m、延長480m) ●清水港 江尻4~5号岸壁(水深6.5m) 建設工事 着工(9月) ●下田港 防波堤(西)ケーソン第1号函 据付(11月)	清水港に豪華客船「クイーン・エリザベスII」が初寄港(2月) 	消費税導入開始(3%) (4月) 東西冷戦終結(12月) 日経平均株価が史上最高値(12月29日終値 38,915.87円)
1990年 (平成2年)	●清水港 富士見4~5号岸壁改良工事 完成(3月) (水深12m、延長480m) 		東西ドイツ統一(10月)
1991年 (平成3年)	●清水港 江尻4~5号岸壁(水深6.5m) 完成(3月) 		湾岸戦争勃発(1月) 雲仙普賢岳噴火 ソビエト連邦崩壊(12月)
1992年 (平成4年)	●清水港 江尻4~5号岸壁(水深6.5m) 完成(3月) 	「清水港・みたと色彩計画」策定(3月) 	Jリーグ開幕(5月) 北海道南西沖地震(7月) 欧州連合(EU) 発足(11月)
1993年 (平成5年)	●御前崎港 西埠頭10号岸壁(水深14m) 建設工事 着工(2月) 		関西国際空港開港(9月) 北海道東方沖地震(10月)
1994年 (平成6年)			阪神・淡路大震災(1月) 地下鉄サリン事件(3月)
1995年 (平成7年)			
1996年 (平成8年)	●下田港 防波堤(西) 消波ブロック内蔵双胴型ケーソン第1号函 据付(11月) 	国道1号静岡バイパス全線開通(3月) 御前崎港に自動車運搬船が初入港(8月)	消費税が5%となる(4月)
1997年 (平成9年)	●清水港 三保防波堤改良工事 完成(2月) (改良延長330m)		長野冬季オリンピック開催(2月)
1998年 (平成10年)	●清水港 新興津コンテナターミナル 岸壁(水深15m) 第1バース建設工事 着工(7月) ●清水港 新興津防波堤建設工事 着工(9月)	清水港日の出地区再開発事業概成 清水港開港100周年 	欧州単一通貨ユーロ導入(1月)
1999年 (平成11年)	●下田港 防波堤(東)建設工事 着工(11月) 	沼津港、松崎港が特定地域振興重要港湾に指定(5月)  	三宅島噴火(6月)
2000年 (平成12年)	■省庁再編により 国土交通省 中部地方整備局 清水港湾工事事務所に改組(1月) 		USJ開業(3月) 米国同時多発テロ(9月)
2001年 (平成13年)			サッカーワールドカップ 日韓大会開催(5月~6月) 日朝平壤宣言(9月)
2002年 (平成14年)	●清水港 新興津コンテナターミナル 岸壁(水深15m) 第1バース建設工事 完成(3月) ●御前崎港 西埠頭10号岸壁(水深14m) 完成(3月) ■清水港湾事務所に改称(4月) 	清水港新興津コンテナターミナル 第1バース供用開始(6月) 	イラク戦争勃発(3月) SARSがアジアを中心として世界的に流行
2003年 (平成15年)		御前崎港多目的国際ターミナル供用開始(1月) 下田港開港150周年 御前崎港の外航定期コンテナ航路第1船が入港(10月) 	新潟県中越地震(10月)
2004年 (平成16年)	●清水港 外港防波堤改良工事 完成(11月) (改良延長1,300m)  		愛知万博開催(3月~9月) JR福知山線脱線事故(4月)
2005年 (平成17年)			

写真提供：静岡県、静岡市、清水埠頭株式会社

2021年(令和3年)6月作成

国土交通省

清水港湾事務所 100年のあゆみ ⑤

年	清水港湾事務所の動き(主要プロジェクト)	静岡県内各港の動き	主な出来事
2006年 (平成18年)	- 田子の浦港 中央2号岸壁改良工事 着工(10月) (水深9m→12mへの増深・耐震化) - 清水港 新興津コンテナターミナル 岸壁(水深15m)第2バース建設工事 着工(12月)  改良工事中の田子の浦港中央2号岸壁 (2007年4月)	 第2バース工事着工前の新興津コンテナターミナル (2006年3月)	
2007年 (平成19年)	- 田子の浦港事務所 設置(4月) - 下田港 防波堤(東) 直立消波スリットケーソン第1号函据付(5月)  下田港 防波堤(東) スリットケーソン第1号函の据付	沼津港「みなとオアシス沼津」登録(11月)  みなとオアシス沼津	
2008年 (平成20年)		静岡空港開港(6月) 駿河湾地震(8月)	リーマンショック(9月)
2009年 (平成21年)	御前崎港 防波堤(西)建設工事 完成(12月)  防波堤(西)完成後の御前崎港 (2009年)	 田子の浦港 中央2号岸壁改良工事 岸壁本体の据付作業 (2009年8月)	 清水港 新興津コンテナターミナルの整備 岸壁本体の据付作業 (2010年8月)
2010年 (平成22年)	清水港 日の出4~5号岸壁(水深12m)改良工事 着工(6月) (老朽化対策)		
2011年 (平成23年)	- 田子の浦港 中央2号岸壁改良工事 完成(2月) (水深12m・延長240m・耐震構造) - 清水港 日の出4~5号岸壁(水深12m)改良工事 完成(7月)	田子の浦港国際物流ターミナル 供用開始(2月)  供用開始後の田子の浦港国際物流ターミナル(中央2号岸壁) (2011年6月)	東日本大震災(3月) 地上アナログテレビ放送終了(7月)
2012年 (平成24年)	御前崎港 防波堤(西)改良工事 着工(10月) (地震・津波対策(「粘り強い構造」の導入))	新東名高速道路 (御殿場JCT-浜松いなさJCT) 開通(4月)	東京スカイツリー開業(5月)
2013年 (平成25年)	清水港 新興津コンテナターミナル 岸壁(水深15m)第2バース建設工事 完成(3月)  新興津コンテナターミナル 第2バース供用開始式典 (2013年5月25日)	清水港新興津コンテナターミナル 第2バース供用開始(5月)	
2014年 (平成26年)	- 清水港 外港防波堤改良工事 着工(3月) (地震・津波対策(「粘り強い構造」の導入)) - 御前崎港 防波堤(東)改良工事 着工(6月) (地震・津波対策(「粘り強い構造」の導入))  御前崎港 防波堤(東)改良工事 根固ブロックの据付作業 (2014年11月)	大井川港開港50周年 大井川港「みなとオアシスおおいがわ」登録(11月)  みなとオアシスおおいがわ  みなとオアシス御前崎	消費税が8%となる(4月) 御嶽山噴火(9月)
2015年 (平成27年)	清水港 富士見5号岸壁改良工事 着工(1月) (老朽化対策)	御前崎港「みなとオアシス御前崎」登録(8月)	
2016年 (平成28年)	- 清水港 新興津防波堤(延長700m) 完成(3月) - 清水港 日の出4~5号岸壁(水深12m) 改良工事 着工(5月) (大型クルーズ船の受入対応)  改良後の日の出岸壁 (係船柱の大型化)	下田港で初のクルーズ船「ル・ソレアル」が寄港(4月) 田子の浦港開港50周年  下田港で初のクルーズ船「ル・ソレアル」	熊本地震(4月)
2017年 (平成29年)	- 御前崎港 防波堤(東)(延長1,200m) 完成(3月) - 田子の浦港 中央航路保全対策工事 着工(7月) (港口部におけるボケツ整備)	清水港が国際旅客船拠点形成港湾に指定(7月) 	九州北部豪雨(7月)
2018年 (平成30年)	- 清水港 日の出4~5号岸壁(水深12m) 改良工事 完成(3月) - 御前崎港 防波堤(西)改良工事 完成(3月) (改良延長870m) - 清水港 日の出1~3号岸壁改良工事 着工(6月) (老朽化対策・大型クルーズ船の受入対応) - 下田港 防波堤開口部(航路部) 完成(11月)	清水港「みなとオアシスまぐろのまち清水」登録(6月)  みなとオアシスまぐろのまち清水  熱海港 海釣り施設	大阪北部地震(6月) 西日本豪雨(7月) 北海道胆振東部地震(9月)
2019年 (平成31年) (令和元年)	- 清水港からの農産物輸送促進に向けた海上輸送試験を実施 (8月~2020年12月までに計5回実施) - 御前崎港 西埠頭1~2号岸壁(水深12m) 改良工事 着工(12月) (老朽化対策)  高性能冷蔵コンテナによる 農産物輸送試験 (2020年12月)  清水港 外港防波堤改良工事 上部工の高上げ後 (2021年4月)	清水港、熱海港が「釣り文化振興促進モデル港」に指定(3月) 御前崎港で初のクルーズ船「ばしふいつくびいなす」が寄港(8月) 田子の浦港「みなとオアシス田子の浦」登録(11月)  みなとオアシス田子の浦	九州北部豪雨(8月) 消費税が10%となる(10月) 東日本台風(10月)
2020年 (令和2年)	清水港 新興津岸壁(水深15m) 延伸工事 着工(2021年予定)	御前崎港が「釣り文化振興促進モデル港」に指定(8月)	新型コロナウイルス感染症が世界的に流行
2021年 (令和3年)		御前崎港開港50周年 浜名港「みなとオアシス浜名湖」登録(7月) 下田港「みなとオアシス下田」登録(9月予定) 中部横断自動車道(山梨-静岡) 開通(9月予定)	東京オリンピック・パラリンピック開催(7月~9月予定)



国土交通省

清水港湾事務所 100年間の主要プロジェクト

清水港 第二期修築工事

(1921~1938)

1899年(明治32年)8月、清水港が開港場に指定され、茶の輸出をはじめとする貨物量の増加に対応するため、1909年(明治42年)から、静岡県が第一期修築工事を実施、江尻・日の出地区の船溜まりが整備されました。

その後も貨物は増え続け、清水港の施設拡充に対する地域からの強い要請を受けて、1920年(大正9年)に、国の清水港修築予算が認められました。翌1921年(大正10年)、内務省直轄による清水港第二期修築工事の実施が決定し、10月1日に、内務省横浜土木出張所清水港修築事務所を開設しました。

事務所開設直後から、測量や土地収用業務を開始し、1922年(大正11年)から、航路の浚渫や大型船が接岸可能な岸壁(現・日の出岸壁)の整備、埋立地の造成等を進めました。

岸壁の完成により、それまでの舢舨^{はしけ}による沖荷役から、岸壁での直接荷役が可能となり、本船との荷役効率が格段に向上するなど、清水港の近代化の大きな一歩となりました。

第二期修築工事は1938年(昭和13年)に完了し、同年3月に清水港修築事務所を閉所しました。

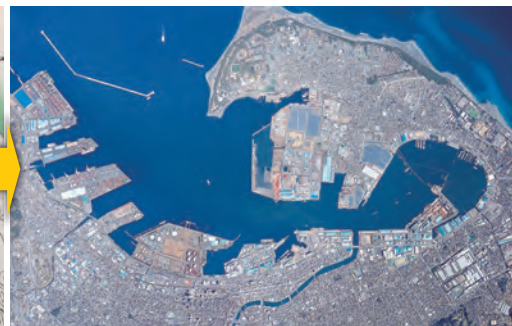
- 主要事業／甲岸壁(水深10.6m、延長212m)、乙岸壁(水深8.5m、延長183m)、丙岸壁(水深7.3m、延長225m) } ※現在の日の出地区
追加岸壁(水深10.6m、延長149m)、渡栈橋(水深10m、延長50m)
鉄道省岸壁(水深7.3m、延長266m)、不二見物揚場(水深2.3m、延長750m) ※現在の富士見地区
航路泊地浚渫(水深7.3~9m)、埋立地造成(清水受新田(日の出)、清開、不二見、三保貝島)
- 事業期間／1921年(大正10年)~1938年(昭和13年)



第二期修築工事着手前の平面図
(1920年)



第二期修築工事完了後の平面図
(1938年)



現在の清水港
(2021年3月)



修築工事中の清水港 (1924年)



現在の清水港(日の出地区) (2021年5月)



第二期修築工事 起工式(基石沈下)
(1921年5月22日)



丙岸壁に第1船「泰仁丸」が入港(初の接岸荷役)
(1929年5月)

岸壁整備による荷役形態の変化

(例:輸出茶の積み込み)

岸壁整備前: 舢舨^{はしけ}による沖荷役

日の出岸壁での直接荷役



沖合に停泊している本船に
小型船(舢舨)で貨物運ぶ



大型の本船が岸壁に接岸し
直接貨物を積み込む



国土交通省

清水港湾事務所 100年間の主要プロジェクト

清水港 日の出地区 岸壁の改良 (老朽化対策・大型クルーズ船対応)

(2016～)



出典: 国土地理院発行 2万5千分1地形図

清水港では、近年、国内外のクルーズ船の寄港が増加しており、2017年(平成29年)には国際旅客船拠点形成港湾に指定されました。

クルーズ船の寄港拠点である日の出地区は、岸壁の老朽化が進んでおり、また、大型クルーズ船が着岸するために必要な水深が一部箇所で不足している状況です。

こうした課題に対応し、大型クルーズ船の受入機能を確保するため、2016年(平成28年)から、日の出地区の岸壁改良工事を進めています。

工事が完成すれば、大型クルーズ船が2隻同時に着岸できるようになり、日の出地区の更なる活性化・賑わい創出が期待されます。

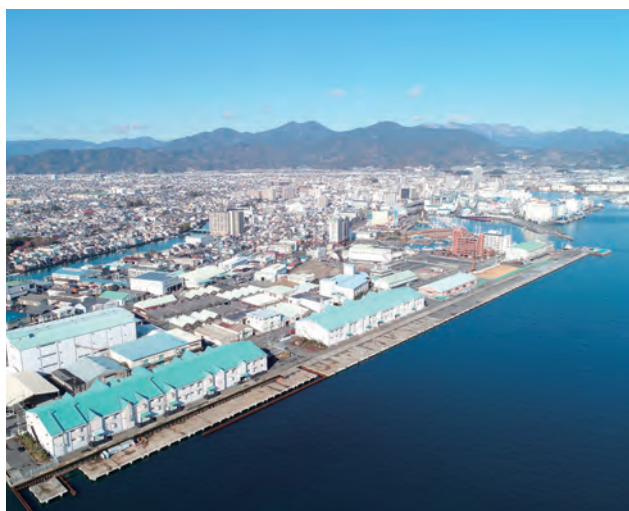
■主 要 施 設 / 日の出4～5号岸壁(水深12m、延長480m) (2018年3月 改良工事完成)

日の出1～3号岸壁(水深4.5～7.5m、延長340m) (2018年6月より改良工事中)

■主な改良内容 / 日の出4～5号岸壁(新2号岸壁): 係船柱の大型化(35t型→200t型)、防舷材の改良

日の出1～3号岸壁(新1号岸壁): 既設栈橋の補強(深梁工法)、既設栈橋を撤去し矢板式岸壁に改良(水深12m化)

■事 業 期 間 / 2016年(平成28年)～2022年(令和4年)(予定)



清水港 日の出地区 (2021年1月)



豪華客船「クイーン・エリザベスII」が初寄港
(全長293.5m、総トン数7万トン) (1990年2月)



清水港史上最大の客船「マジェスティック・プリンセス」が初寄港
(全長330m、総トン数14.4万トン) (2019年8月)

日の出岸壁の改良工事

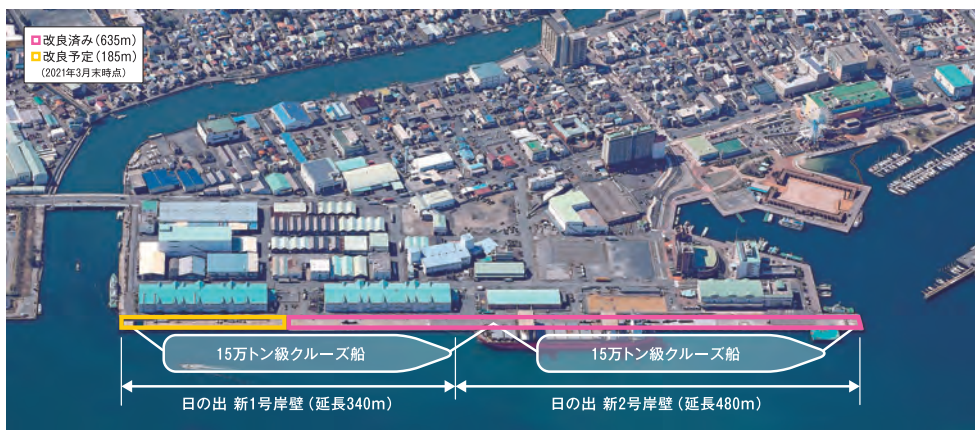


係船柱の大型化

左: 従来型(35t型) 右: 改良後(200t型)



鋼管杭の打設工事(回転圧入工法)
(2020年2月)



日の出岸壁の改良状況



国土交通省

清水港湾事務所 100年間の主要プロジェクト 田子の浦港 中央航路の保全

(2017～)



製紙業・化学工業等の原材料供給や製品搬出拠点としての役割を担う田子の浦港では、西からの沿岸流で運ばれる砂の航路内への流入・堆積を防止し、港の安全かつ安定的な利用を確保するため、2017年（平成29年）から、航路保全事業として、港口部のポケット（くぼみ）整備を進めています。

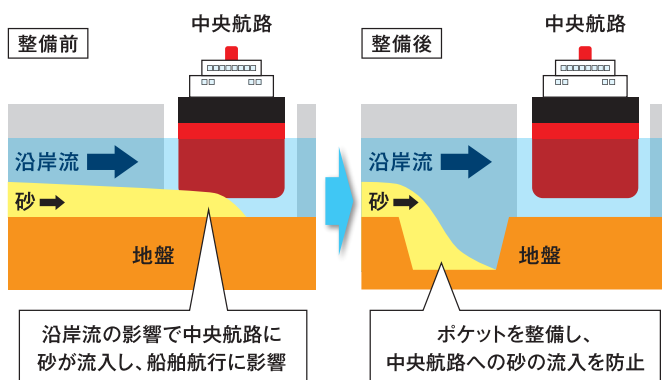
■主要施設／港口部ポケット（水深16m）

■事業期間／2017年（平成29年）～（2023年度（令和5年度）完成予定）



田子の浦港（2021年3月）

ポケットの効果（イメージ）



ポケットの掘削作業
（2019年2月）



ポケットの掘削作業
（2021年5月）



掘削した砂を活用した養浜
（2018年5月）



掘削した砂を活用した養浜
（2021年5月）

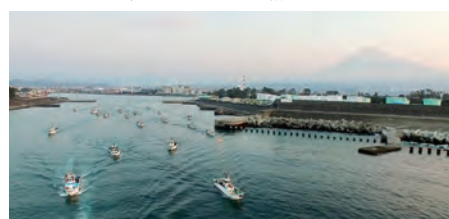
中央航路の利用状況



入港する石炭運搬船（2021年6月）



出港するセメント運搬船（2021年5月）



一斉に出漁するしらす漁船（2018年）

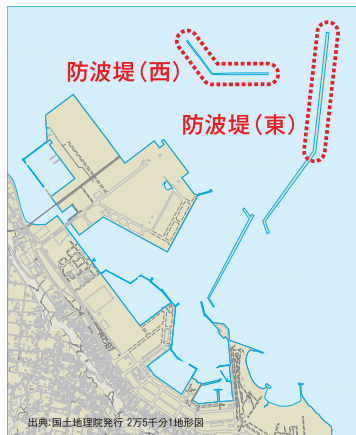


国土交通省

清水港湾事務所 100年間の主要プロジェクト

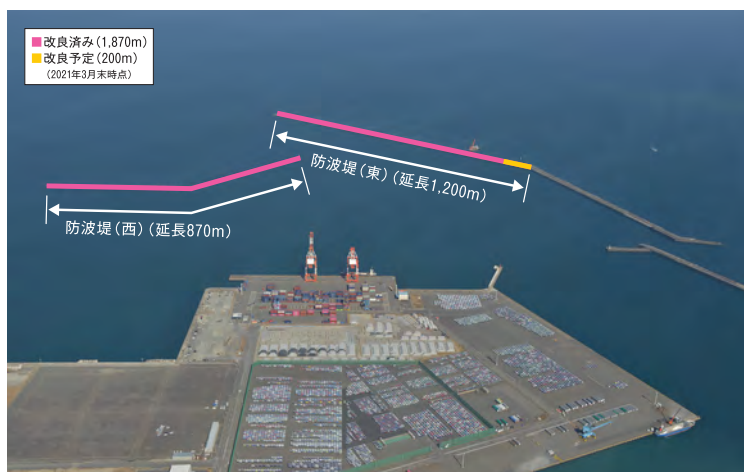
御前崎港 防波堤の改良(地震・津波対策)

(2012～)

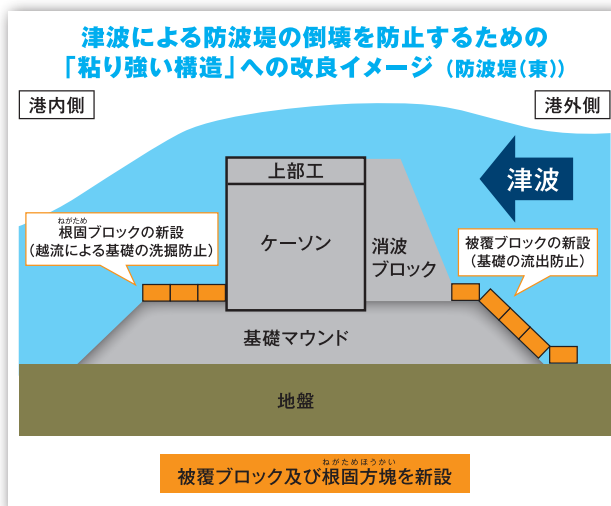


静岡県中西部の物流拠点・地域の賑わい拠点としての役割を担う御前崎港では、2011年(平成23年)の東日本大震災の教訓を踏まえ、大規模地震に伴う津波により防波堤が倒壊し、港湾利用が再開できない事態を防止するため、2012年(平成24年)から、防波堤の「粘り強い構造」への改良を進めています。

- 主 要 施 設／防波堤(西)(改良延長870m) (2018年3月完成)
防波堤(東)(改良延長1200m)
- 主な改良内容／防波堤(西): 上部工の高上げ(高さ約0.5m)、被覆ブロック・根固ブロックの新設
防波堤(東): 被覆ブロック・根固ブロックの新設
- 事 業 期 間／2012年(平成24年)～ (2022年度(令和4年度)完成予定)



防波堤の改良状況



防波堤(西) 30t型被覆ブロックの据付作業
(2016年2月)



防波堤(西) 上部工の高上げ工事
(2017年11月)



防波堤(西) 上部工の高上げ後
(2018年1月)



防波堤(東) 根固ブロックの据付作業
(2018年11月)



防波堤(東) 16t型被覆ブロックの製作工事
(2020年12月)



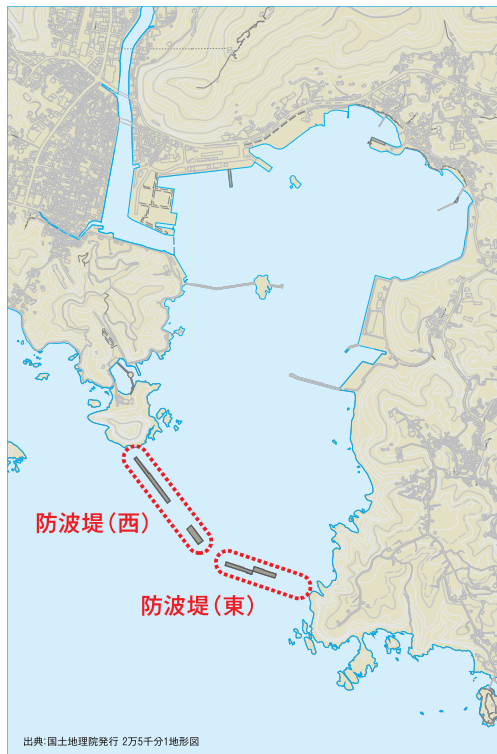
防波堤(東) 16t型被覆ブロックの据付作業
(2021年2月)



国土交通省

清水港湾事務所 100年間の主要プロジェクト 下田港 防波堤の整備

(1980～)



出典：国土地理院発行 2万5千分1地形図

伊豆半島の下田沖は、海上交通の要衝であり、気象・海象条件が厳しい難所としても知られています。

また、下田港周辺地域は、古くから津波により繰り返し被災しており、津波対策が重要な課題となっています。

このため、下田港では、荒天時にも船舶が安全に避難できる静穏な水域を確保するとともに、東海地震などによる津波から市街地を防護する目的で、1980年（昭和55年）に、運輸省（現・国土交通省）の直轄事業として、湾口部の防波堤整備に着手しました。

最大水深45mの日本有数の大水深での施工に加え、季節風による波浪の影響で施工時期が限られるなど、難易度の高い条件の中、工事を進めています。

- 主要施設／防波堤（西）（延長500m）（2021年3月末時点 350m完成）
防波堤（東）（延長400m）（2021年3月末時点 255m完成）
- 構造形式／防波堤（西）：消波ブロック内蔵双胴型堤、消波ブロック被覆堤
防波堤（東）：直立消波スリットケーソン堤、消波ブロック被覆堤
- 事業期間／1980年（昭和55年）～ （2030年代完成予定）



防波堤整備前の下田港
(1983年)



防波堤の整備状況
(2019年)

防波堤の効果

(港内の静穏性向上による船舶の安全・安定利用)



荒天時における船舶の避難
(2016年3月)



下田港で初のクルーズ船「ル・ソレアル」が寄港
(2016年4月)



下田港防波堤着工式典
(1985年9月7日)



消波ブロック内蔵双胴型ケーソンの据付作業
(1998年)



80t型高比重消波ブロックの据付作業
(2002年10月)



防波堤開口部（航路部）の方塊据付作業
(2016年7月)

「清水港湾事務所 100年のあゆみ」 パネル展示のお知らせ

【展示場所① 静岡市東部勤労者福祉センター（清水テルサ） 1階ギャラリー】

日 時：令和3年7月21日（水）～令和3年8月31日（火）

（8時30分～22時00分）

※主に清水港の整備に関するパネルを展示予定

住 所：静岡市清水区島崎町223

その他：公共交通機関でお越しください。最寄り駅：JR清水駅

車でお越しの際は、近隣の有料駐車場をご利用ください。

【展示場所② 御前崎市役所本庁 1階ロビー】

日 時：令和3年7月21日（水）～令和3年8月31日（火）

（8時15分～17時00分 土日祝日除く）

※主に御前崎港の整備に関するパネルを展示予定

住 所：御前崎市池新田5585番地

その他：車でのお来訪可。駐車場有

【展示場所③ 牧之原市役所相良庁舎 1階ロビー】

日 時：令和3年7月21日（水）～令和3年8月31日（火）

（8時15分～17時00分 土日祝日除く）

※主に御前崎港の整備に関するパネルを展示予定

住 所：牧之原市相良275番地

その他：車でのお来訪可。駐車場有

【展示場所④ 中部地方整備局清水港湾事務所 1階】

日 時：当面の間（8時30分～17時15分 土日祝日除く）

住 所：静岡市清水区日の出町7-2

その他：公共交通機関でお越しください。最寄りバス停：波止場フェルケール博物館

車でお越しの際は、近隣の有料駐車場をご利用ください。

■ 注意事項

- ・マスクを着用の上、御来場ください。
- ・入口に設置された消毒液で手指の消毒をお願いします。
- ・風邪症状があるなど体調が悪い方、37度以上の発熱がある方は、来場を御遠慮ください。
- ・会場内では、大声での発声は御遠慮ください。
- ・会場内では、密を避けるため、他の方との間隔に御配慮ください。

清水港湾事務所では、学校、企業、自治会等の皆様を対象に、みなと（清水港、御前崎港、田子の浦港、下田港など）の見学会や、出前教室を実施しています。

詳細は、清水港湾事務所 企画調整課（TEL 054-352-4148）にお問い合わせ下さい。

メール（pa.cbr-shimizukouwan@mlit.go.jp）でも受け付けております。

海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル

おーいに よくなれ みなと

0120-497-370

受付時間：9時30分～12時、13時～17時（土・日、祝祭日は除く）
携帯電話からもご利用いただけます

- ・海やみなとの利用に関すること
- ・総合的な学習時間に関すること
- ・みなとの構想や計画に関すること
- ・海洋土木技術に関すること
- ・みなとの防災に関すること

その他、海とみなとに関することは何でもお問い合わせください

■ 本紙に関するお問い合わせ先 ■

清水港湾事務所 企画調整課

TEL 054-352-4148

ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

pa.cbr-shimizukouwan@mlit.go.jp